

議会のひろば

ギ カ イ

2021年(令和3年)4月25日発行

特集

●岡谷市議会基本条例に基づく
政策提言書を市長へ提出!!

No. 23
2021 APR.



表紙 岡谷湖畔公園で遊ぶ子ども

岡谷湖畔公園は、諏訪湖畔をぐるっとV字に囲む公園です。散歩を楽しむ人、ジョギングを楽しむ人。そして、この日は春の陽気に誘われて、市内外から多くの親子連れが訪れ、大型の遊具で楽しく遊んでいました。〈突ゲキ生レポートより〉

●もくじ

令和3年度予算審査 新たな時代にむけて……………2~3

○総務委員会・社会委員会・産業建設委員会で予算審査を深める

一般質問(ダイジェスト版)パート1……………4~7

●岡谷市議会基本条例に基づく

特集 政策提言書を市長へ提出!!……………8~9

一般質問(ダイジェスト版)パート2……………10~13

令和3年 第1回定例会……………14

議場ってどんなところ? 議場図解……………15

○議会のフォト広場

飛び出せ議員!「突ゲキ生レポート」……………16

編集後記……………16

令和3年度予算審査

新たな時代に向けて

令和3年第1回定例会議案第13号において、新たな時代の予算審査が行われ、総務委員会、社会委員会、産業建設委員会等で審査を深めました。主な内容について報告します。

総務委員会

岡谷の魅力体験事業

問 新たなワーケーション利用者向け事業の内容は？

答 2泊3日以上岡谷市内にとどまる方を対象に、宿泊費と交通費への補助に加え、レンタカー借り上げに對し上限1万円を補助するほか、食体験支援としてうなぎ券3千円分を配布する。

感染症対応避難所設置・運営訓練事業

問 訓練の内容は？

答 新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を講じた訓練で、受付での検温、手指消毒、問診の実施、身体的距離の確保ができるスペースづくり等を実施し、各区の自主防災組織が迅速かつ的確に対応できる体制の確立を目指す。

旧山一林組製糸事務所100周年記念事業

問 シルク関連イベントと連携した記念事業の内容は？

答 旧山一林組製糸事務所の歴史や岡谷の製糸業を盛り込んだパンフレットを作成し、シルクフェア等で配布するほか、昔の建物や仕事風景などの写真のパネル展を行う。また切り抜いて組み立てると旧山一林組製糸事務所の形になる立体折り紙を無料配布しPRに努めたい。

反対討論(反対意見)

職員の正規、非正規の格差の問題が依然あり、コロナ禍での全国的な失業問題を考慮し、自治体として正規職員を増やす姿勢が大事ではないか。また教師の負担軽減への支援に手厚い予算が盛りされていないことから本予算に反対する。

賛成討論(賛成意見)

市税の減収が見込まれるなか特定財源の確保に努められ、必要な事業の継続と時代に合わせた事業の転換が図られている。市民の誰もが安心と希望が持てるまちづくりになお一層取り組んでいくことを要望し本予算に賛成する。
※委員会では、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

令和3年度予算審査 新たな時代に向けて

社会委員会 予算審査 私は、ここに注目した!

コロナ禍を勝ち抜く為の病院経営の考え方【小松 壮】

市民の不安を解消する支援事業への取組予定【吉田 浩】

障がい者 高齢者 児童福祉費と地域支援事業費【大塚秀樹】

減収予算が新たな日常生活に対応しているか【早出すみ子】

○討論の概要

◆反対討論(反対意見)

マイナンバー制度の推進や、国保加入者の生活実態と重税状況を顧みない対応があり、コロナ禍という状況を考慮した、市民の要望に応えられる予算とは思えないことから、本予算には反対する。

◆賛成討論(賛成意見)

健康、福祉、環境施策の充実、子育て世帯への包括的支援など、新規事業や拡充事業が随所にみられ、課題に對して効果的な施策展開を図るための予算である。
さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、見通しがつかない

地域福祉の互助体制、病院経営の思いと課題【藤森博文】

コロナ禍への対応が具体的に盛られているか【浜 幸平】

市有林整備事業

問 岡谷小学校跡地の管理はどのような内容か？

答 植栽された箇所の下刈を行っていく。また、鹿等の侵入による樹木の食害を防ぐため、薬の散布により鳥獣害防止を図る。ある程度樹木が成長するまでは、同様の対応を行う予定である。

岡谷蚕糸博物館(シルクファクト)について

問 多くの人が来館できるようにするための方策は？

部分も多々あるなかで、不測の事態に備え、市民の不安に慮る予算でもある。課題は山積しているが、予算執行に全力で邁進していただくことを要望し、本予算に賛成する。
※委員会では、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

産業建設委員会

移住定住促進、関係人口創出等施策の一元化【今井康善】

総務委員会 予算審査 私は、ここに注目した!

一般会計から国民健康保険会計への繰出し【笠原征三郎】

歳入の確保と、限られた財源の中での事業選択【早出一真】

合葬式墓地 嶺風苑【武井友則】

子ども一人ひとりに配慮した教育環境の確保【田村みどり】

防災と教育の充実、安心と希望のまちづくり【渡辺太郎】

子ども発達支援センター事業

問 支援が必要であっても、声を挙げられない保護者もいると思われる。支援における課題は？

答 声を挙げられない点は、保護者が子どもの発達の遅れに気づいていない、受け入れることができないなど、様々な状況が考えられる。乳幼児健診などの機会を通じて、気になる子どもがいた場合は、フォロー教室や必要があれば他の関係機関を紹介するなど、その子に合った必要な支援につながるよう対応している。

社会委員会

蛍光灯型防犯灯LED化促進事業

問 各区におけるLED化の取り組み状況について

答 各区の積極的な取り組みにより、蛍光灯型防犯灯のLED化率は約20%となっており、平成29年度から3年かけて全てLEDに交換した電球型防犯灯も含めると、LED化率は約60%となっている。

答 コロナ禍において、来館者数が減少傾向にある中、オープンエアマーケットや、ものづくりフェアアーカイブ展などと連携して誘客促進を図ってきた。引き続き、部署と連携した誘客促進に取り組みとともに、新しい岡谷シルク推進事業における製品の情報発信や、岡谷でしかできないイベントの開催、さらには、服飾系の専門学校とのワークショップなどを開催し、情報発信を続けることにより、多くの方に岡谷蚕糸博物館(シルクファクト)に来てもらえるよう努める。

◆反対討論(反対意見)

新型コロナウイルス感染症拡大の中で苦しい営業を強いられる事業者への支援について、大胆な支援が盛り込まれておらず、製造業についても、中小零細企業を中心に、長期にわたる深刻な事態が継続し、廃業も検討せざるを得ない深刻な事態に對しても直接的な支援が盛り込まれていない。また、市内の車道、歩道の傷みが激しく、各区からの土木要望にも十分応えられないことから、本予算に反対する。

◆賛成討論(賛成意見)

令和3年度は、第5次岡谷市総合計画の3年目であり、着実に前進しなければならぬ年である。新型コロナウイルス感染症を乗り越える「新たな日常の実現に向けた変革の年」であることから、重点施策として「地域活力の再興」と「幸せを実現できる日常づくり」を掲げており、新たな日常の実現が大いに期待できる予算であり本議案に賛成する。
※委員会では、賛成多数により、原案のとおり可決されました。

産業建設委員会 予算審査 私は、ここに注目した!

円滑な審査進行と、本当に必要な予算なのか【今井義信】

ポストコロナの経財喚起に向けた事業に注目【中島秀明】

「新しいシルク文化の創造」新しさの詳細【遠藤真弓】

上水道の今井上向配水池等水質向上事業【山崎 仁】

市民病院が赤字予算国の減収補填は必須【今井秀実】

「岡谷へ行こう」と「ふるさと回帰」事業【中島保明】

令和3年
第1回定例会(3月)
議場の再現

ズバリ!
市政を問う!

一般質問

(ダイジェスト版)



Q…議員の問い A…市からの答え

※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



目次

《パート1》

1. 小松 壮…4ページ
2. 中島 秀明…5ページ
3. 早出 一真…5ページ
4. 大塚 秀樹…6ページ
5. 田村みどり…6ページ
6. 今井 秀実…7ページ
7. 今井 義信…7ページ

《パート2》

8. 武井 友則…10ページ
9. 今井 康善…10ページ
10. 山崎 仁…11ページ
11. 浜 幸平…11ページ
12. 早出すみ子…12ページ
13. 笠原征三郎…12ページ
14. 吉田 浩…13ページ
15. 遠藤 真弓…13ページ

●一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●一般質問の順位は、3月の定例会のみ、第2日目の正午、一般質問通知締切後の休憩中、議場において「くじ」で決めます。

※掲載は質問順です。
※掲載内容は質問者の文責によるものです。

Q コロナ禍の飲食店の経営状況について

A 大変に厳しい状況に置かれている



小松 壮

Q 飲食店からどのような声が上がっているのか?

A 売り上げは前年度比70%減、お客様の回転がない為21時には閉店している。

夜のお客様はほとんど来ない。宴会もなくなり、大口の予約がない。

Q 支援策について

A 即効性のある追加的支援策を講じていくことも必要と考えている。テイクアウトキャンペーンの実施や、新年度においても「特別経営安定資金」による資金繰り支援の他、国の第3次補正予算において措置された「新型コロナウイルスウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した更なる消費喚起策等を検討してまいりたい。

★要望：現場の皆様は待ったなしの状態です。行政担当者は経営者と真剣に向き合い、現場に足を運び、情報収集をしっかりと行い、問題点の把握と問題

ドローン活用の方

Q 防災時のドローンの活用について

A ドローンは、活用性が高く有効であることを認識している。防災関係機関である諏訪建設事務所、長野県警察、広域消防本部などと連携を図ることを考えている。

Q 庁内でのドローンの機体購入と操縦技術の職員教育について

A 機体は用途や機能によって様々な事、操縦者育成が必要であり、定期的な訓練の継続が必要となるなど課

ドローンから見た横河川の桜



題を感じている。他自治体の動向を注視し、研究してまいりたい。

Q 岡谷市のふるさと納税の現状と今後の取り組みは?

A 確保に向け積極的に取り組む



中島 秀明

Q ふるさと納税の状況は?

A ふるさと納税は、納税者が応援したい自治体を選択して寄附できる取組で本市も全国の多くの方から寄附を受けており、令和2年度まで過去

Q ふるさと納税の今後の取り組みは?

A 返礼品では、セレクト絵本、うなぎの蒲焼、信州蜂蜜、味噌、育毛剤等に人気がある。また、ふるさと納税の約97%がポータルサイト経由で寄附されており、現在の三つのポータルサイトに加えて、令和3年度からは三越伊勢丹のポータルサイトの活用を予定しており、返礼品の拡充と共に、ポータルサイトを効果的に活用して新規寄附者の増加を図っていく。

★要望：ポータルサイトの活用には



ふるさと納税カタログ

見せ方の工夫が必要。また、令和3年度に予定しているスポーツツーリズムや企業版ふるさと納税等を活用し積極的に取組を期待。

岡谷プレミアム商品券の評価

Q 商品券の実績と評価は?

A 用意した6万3000シートが完売し、換金額は8億1733万8000円で99.8%の換金率であった。商品券の利用業種は、利用の多い順に一般小売36.48%、食品小売り34.82%が多く、飲食、家電、自動車関連、建築設備関連の順であった。また、購入者の割合は、岡谷市民が94.64%となっている。今回のプレミアム商品券は、途中で制度設計を拡充したことや商品券の購入方法等に課題が残ったが、商品券の完売で平成27年度を上回る成果となった。

Q 諏訪湖周の環境整備による付加価値創出は?

A 様々な角度から検討されている



早出 一真

Q 下諏訪町境から、あいとびあ駐車場間の廃川敷地の有効利用は?

A サイクリングやジョギングなど諏訪湖周で楽しめる方に利用いただけるよう、利用者ニーズにあった

公園として、県と土地利用について協議しながら整備計画を策定する。

Q 残土置き場の代替地や土地替えの検討が必要では?

A 公共事業を実施するうえで残土の仮置き場は必要なのであり、近隣市町村とも相談しながら諏訪湖周にこだわることなく視野を広げて、代替地の検討をしていく。

Q 湊廃川敷地の現在の状況は?

A コンビニエンスストアが昨年2月から営業を開始。他の敷地は商業施設用地と宅地分譲地として、造成工事を進めており、計画は概ね順調に進捗している。

Q 釜口水門の下段放流の可能性は?

A 下段放流を行っても貧酸素層が形成される湖の中心部にはほとんど影響を与えない。諏訪湖の貧酸素対策として、大量繁茂により水の流れを阻害している箇所でのヒシ除去などが有効であると考ええる。

Q 釜口水門の舟通しを利用した小水力発電の可能性は?

A 釜口水門を管理する長野県諏訪建設事務所の見解は、「舟通し」の中に小水力発電装置を設置すると、船舶が入れなくなり、本来の機能が損なわれてしまうとのことであり、現在のところ、装置を設置することは難しいと考えている。



岡谷市インスタグラムフォトコンテスト入賞作品から

Ｑ ヤングケアラーが生まれる背景と問題

Ａ 家族形態の変化による影響



大塚 秀樹

Ｑ ヤングケアラーの実態把握

Ａ 要保護児童対策地域協議会において把握等に努めているが、家庭内のことであることや、支援を求めない傾向があるため、把握が難しい状況にあるが、家庭児童相談や、子ども総合相談センターなどの相談窓口において、子どもやその家庭の実態の適切な把握と、早期対応に努める。

況にあるが、家庭児童相談や、子ども総合相談センターなどの相談窓口において、子どもやその家庭の実態の適切な把握と、早期対応に努める。

Ｑ ヤングケアラーからの声の把握

Ａ 子どもが家族を介護、世話をしている家庭を数件、把握している。さまざまな課題が複雑化、複合化しており、包括的な支援に努めている。子ども自身がヤングケアラーであることを認識していないため、本人からの相談がなかったり、本当の気持ちを聞き取ることが難しい。

Ｑ 市独自のヤングケアラー調査

Ａ 家庭訪問などを通じて、課題を抱える家庭の把握に努め、児童生徒の



気楽に相談できる場所

困ったこと悩みごとを把握するためのアンケート、児童生徒への声かけや面談を、随時行っている。

Ｑ 新年度予算について

Ａ 「地域活力の再興」「しあわせを感じることができる日常づくり」に向けた予算

Ｑ 市政懇談会に代わる方法

Ａ シルキーチャンネルやユーチューブで重点施策の一部を見られるよう番組を制作し、放送している。

Ｑ 事業の見直しと継続について

Ａ 事業効果や市民ニーズ等を検証し、予算編成した。

Ｑ コロナ禍での市民の意見や要望

Ａ 窓口や電話、市民提案ボックス、市長メール、ホームページからの問合せなどにより、市民の皆様の意見や要望等の把握に努めている。

Ｑ 子育てと仕事の両立を考える支援策は？

Ａ 女性の再就職支援セミナー



田村 みどり

「女性の再就職支援セミナー」「就職説明会」の事業実施状況及び参加者の感想や評価は？

Ａ 県との共催事業。第一部の「ママのいきいき仕事塾」でキャリアアチェンジ

や再就職に対する考え方を学び、第二部の「再就職応援セミナー」で働き方や仕事の選び方、収入を得ることでの税や社会保障を学ぶ内容。翌日の女性限定の「就職説明会」には市内の求人企業などが参加。両日とも託児所を併設。参加者からは「子育てと仕事の両立に向けた働き方について整理ができた」「環境に合わせた働き方がイメージしやすい」など有意義な機会であったとの声をいただいた。

働く場において女性がその個性と能力を十分に発揮できる社会の実現の

移住プロモーション動画

Ｑ 移住プロモーション動画・PRパンフレット作成のコンセプトや内容は？

Ａ 動画は、移住を検討する上で「行ってみたい・住んでみたい」と感じる魅力を発信するために「美しいが生まれるまち岡谷」をコンセプトに地域資源、人的資源をフル活用。移住支援パンフレットは、都心では経験・体感できない魅力をデザイン的にも手に取りやすい内容で作成した。



おかやの魅力満載のパンフレット完成!!

Ｑ 活用方法は？

Ａ 動画サイトや全国移住ナビ、関係機関などの窓口設置で周知。

Ｑ 障がい者就労支援施設の工賃引き上げを

Ａ 工賃アップの取り組み推進



今井 秀実

障がい者就労支援施設の工賃の現状と課題は？

Ａ 長野県は、「障がい者工賃向上計画2018」を策定し、取り組んでいる。県内の就労継続支援B型事業所の平

均工賃は月額1万5970円。市内事業所は、県平均には及ばないが、増額傾向である。障害年金と工賃をあわせて収入で自立した生活を送るのは依然として難しい点が課題である。

Ｑ 「障害者優先調達推進法」による販路拡大の現状は？

Ａ 岡谷市では、毎年度、目標額等を決め、市内の障がい者施設から、菓子など物品の調達や公有地の草刈り等の仕事の発注の拡大に努めている。

新型コロナウイルス感染症

Ｑ 感染拡大防止のためには、医療・介護・保育・学校等への社会的

Ｑ ものづくりフェア2021の中止にいたる経緯は？

Ａ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、複数の開催案も検討したうえで、中止を決定した。

Ｑ モノづくり集積地SUAの

現在の状況は？

Ａ 各事業とも、関係者間で調整を行い、実施方法を変更するなど、工夫しながら事業を実施している。

Ｑ 若者を呼び込む取り組みの進捗状況や今後の予定は？

Ａ インターシップ企業の周知のみならず、学生と地元企業の若手技

検査が重要だ。諏訪圏域あるいは岡谷市で社会的検査を早期に実施すべきと思うが？

Ａ 社会的検査の必要性は認識している。大変多くの対象者が想定されるため、市独自の対応は難しい。国や県で体制を構築することが必要と感じている。

駅前ララオカヤ

Ｑ ララオカヤが果たしてきた役割をどう評価しているのか？

Ａ 36年以上もの間、岡谷市の玄関口である駅前の賑わいを創出し、中心市街地の活性化に資するなど、一定の役割を果たしたものと評価している。



岡谷市の玄関口「ララオカヤ」

Ｑ 移転先等、権利者の希望にそった案内・支援が必要だが？

Ａ 商業者等の移転先の相談は、主に商業観光課が窓口となり対応している。関係部課が連携して、個々の実情に沿った丁寧な対応に努める。

た時点で、岡谷市文化財保護審議会や有識者と連携して、保存の必要性も判断していく。遠慮なく生涯学習課へ相談いただくよう周知したい。



古文書の相談は「生涯学習課」へ
TEL.24-8404

特集 政策提言書を市長へ提出!!

政策提言書を市長へ提出!!



全議員18人の総意を市長に届ける!!

政策提言

- ◆公共施設のあり方について
- ◆高齢者の運転免許証自主返納に向けた環境整備と交通安全対策について
- ◆生産労働人口減少を見据えた、工業の持続的成長について

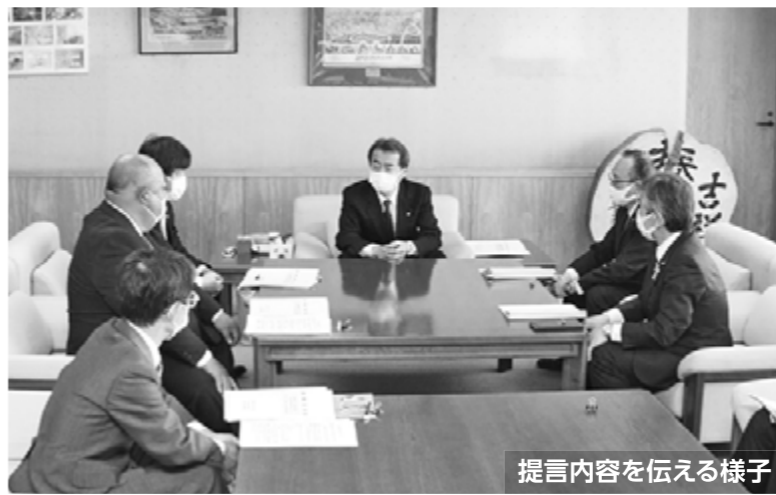
※写真撮影のためマスクをはずしています。

岡谷市議会は、平成29年4月に制定した岡谷市議会基本条例に基づいた政策提言書を作成し市長へ提出しました。担当常任委員会で、検討された提言を議員全18人による政策討論会議を重ね、まとめてまいりました。

令和3年3月29日(月)市役所5階の応接室に、市側から今井竜五市長、小口道生副市長をはじめ関係部長と、議会側から渡辺太郎議長、藤森博文副議長、今井康善総務委員長、小松社社会委員長、今井義信産業建設委員長が集まり、渡辺議長から今井市長に提言書が手渡されました。その後、3常任委員長から提案の内容が伝えられました。市長からは「時間や予算を必要とするものもある。市民の理解協力も必要なものがあり、研究し参考にさせていただきます。」とのコメントがありました。

【渡辺議長あいさつ】

全議員18人の総意として政策提言ができたことは大きな前進です。コロナ禍の中ですが3常任委員会が2年かけて調査・研究を行い、充実した活動ができました。より市民の皆様の負託に応え得る議会を目指し、議会基本条例の具現化に尚一層努力してまいります。



提言内容を伝える様子

政策提言は、次の3つです。

公共施設のあり方について

担当/総務委員会

市民サービスの向上と将来財政負担軽減の両立が図れる公共施設の可能性として四つの提言をまとめました。

①支所・公民館機能と学校施設等との複合化・多機能化 ②学校水泳プールの集約化、水泳指導の民間委託 ③図書館を中心とした集約化・複合化 ④民間活力等新たな建設・管理・運営手法の検討

高齢者の運転免許証自主返納に向けた環境整備と交通安全対策について

担当/社会委員会

岡谷市内においても高齢者が関係する交通事故が増加傾向にあり、事故件数の減少に結び付く対策はないものか、という考えから2年間にわたり調査研究を進め、①自主返納者への支援 ②運転継続者への支援の2つの方向を導き、20項目の提言事項をまとめました。

生産労働人口減少を見据えた、工業の持続的成長について

担当/産業建設委員会

少子高齢化が進む中、工業立市を持続的に成長させるために、人手不足、生産性向上、安定生産等が大きな課題となっています。二つのサブテーマに沿って、「デジタル化の促進と、異分野の連携を確実に進めることのできる、新たな産業拠点の構築」を提言としてまとめました。



★市長へ提出した政策提言書は、議会事務局ホームページで公開しています。

Q 新たな合葬式墓地の計画は?

A 増設を前提に検討を進める



武井 友則

Q 聖地の利用状況は?

A 令和3年2月現在、2640区画が使用されている。過去5年間で平均13件の新規許可があるが、居住地が遠方で墓地が管理できない方

や、合葬式墓地に改葬するなどの理由から聖地を返還する方が増えており、返還数が新規許可数を上回る状況が続いている。

Q 今後も空いた聖地を再整備するの?

A 聖地を利用したい方もいることから、計画的に再整備工事を実施し新規募集を行っていききたい。

Q 合葬式墓地の利用状況は?

A 開設当初は想定を上回るペースであり、平成29年度から令和2年度までの4年間ですべての埋蔵場所が埋まる状況となっている。令和2年度は残数49件に対して82件の申し込

みがあり、初の抽選会を行い利用者を決定した。

★要望：合葬式墓地のニーズの高さがうかがえる。合葬式墓地の早期整備と整備時期の早期公表を。



災害時の電気自動車活用

Q 電気自動車を活用した災害連携協定締結の背景は?
A 市の公用車として電気自動車を導入したことや、避難所や拠点施設のライフラインともいえる電力の確保の必要性を強く感じ締結。

Q 非常時に途切れない電力供給が可能か?

A 電気自動車に可搬型給電器をつなぐことで、電力供給が可能。無償貸与される5台の電気自動車と3台の可搬型給電器に加え、市が管理する公用車2台と1台の可搬型給電器により4箇所電力供給が可能。接続されていない3台を交換用として活用することで継続的な電力供給が行える。

令和2年、コロナ禍の人口動態

Q 令和2年「毎月人口異動調査結果年報」が公表されたが特徴は?

A 昨年12月末現在の人口は4万7620人。人口推移の状況は自然動態307人減、社会動態2777人減、その他6人減。世帯数は34世帯の増。年齢構成は、年少人口163人の減、生産年齢人口395人の減、老年人口28人増。海外からの往來の制限が、人口動態の影響の一因と推察する。

★要望：出生数は287人で39人減。コロナ禍により少子高齢化が加速した可能性があり、今後の動向を注視したうえで政策の検討を。



歩行者利便増進道路(ほこみち)への指定など、新たに活用できる制度があります。

化産業遺産などが立地するエリア周辺にある拠点施設の整備や古民家の活用を考えている。シルク岡谷のまちの歴史と文化を活かした事業展開に期待している。
★要望：まちづくりのプレイヤーとなる人材への側面的支援と新たなプレイヤーの発掘と育成を。

Q 新たな観光で岡谷市の知名度を全国へ

A 魅力的な地域資源を活用



山崎 仁

Q 諏訪湖の噴水施設に光と音楽を取り込み日本の噴水としてリニューアルし、全国にPRしていくなど新たな考えは?

A 諏訪湖は河川法が適用され構造物

の設置や占用等は諏訪建設事務所と協議が必要となり、明確な設置目的や公共性が求められ近年の災害等により基準が厳しい状況であり、リニューアル計画はない。

Q 予算的に湖上での工事、維持管理には相当な費用がかかるが新たな観光名所を作るため、クラウドファンディング活用は?

A 現在のところ活用の考えはないが、自治体が資金調達にクラウドファンディングで成功している事例もあり研究を深めていく。

Q 新年度の新たな観光事業は?

A 岡谷駅に観光案内所を新設。案内所

Q 小型ロケットプロジェクトについて

A 5年間の実績と費用対効果は?



浜 幸平

Q 5年間で一億八千万円委託費として支払われているが、実績と費用対効果、報告書の発刊予定は?

A 地域の技術力をPRしSUWAブランドを広く発信できた。また報

道をきっかけにプロジェクト参加企業に新規の受注の問い合わせがあった。外部向けの報告書、記念誌、DVDなどの発刊は予定してない。

Q 単年度の収支報告と会計監査は?

A 信州大学への委託事業であり業務完了届の提出を受けている。確認後委託費を支出している。平成29年には会計検査院による実地検査も行った。

Q プロジェクトの参加企業と人数は増加しているか?

A 2015年度は21社28人、16年度は13社14人、17年度は15社19人、18年度は13社19人、19年度は12社18人。



諏訪圏工業メッセでのSUWA小型ロケット展示

Q 富士見町の不参加について

A 担当者からは町内の企業規模が小さく、企業からの理解が得られなかったと聞いている。また各市町村の負担増を抑制するため総事業費を引き下げ実施している。

Q ワークেশヨンの受け入れ事業誘致の戦略は?

を拠点にワークেশヨンの受け入れ、個人や家族連れ、小グループでも楽しめるサイクリング事業に取り組み。eバイクを活用したレンタルサイクル事業も開始。

Q 電動アシスト自転車、特にeバイクは快適に利用できるがレンタルサイクルのターゲットは?

A ファミリー層、自転車の初心者から中級者、ワークেশヨンで来訪するビジネスマン。ファミリー層や初心者向けに街乗り用、中級者にはロードバイク型のeバイクを用意。



諏訪湖の景観

Q 宇宙教育と文部科学省の現行の学習指導要領

A 直接扱われているものではないが、JAXA宇宙教育センターの宇宙教育の目的と合致しており、理科の授業を中心に宇宙に関する学習を丁寧に積み上げている。

Q 今年度未効になった事業予算の処理について

A 地方創生推進交付金では不用となる事業費は減額の交付申請を行うことになっている。今年度一部実施できない部分があるが工夫しながら事業を実施している為減額交付申請を行う予定はない。

Q ワクチン接種について

A 全庁あげて取り組む



早出すみ子

Q 接種方法・接種場所は？

A 集団接種方式。場所は検討中。

★要望：高齢者の場合、個人接種(かかりつけ医)の併用の検討と、交通手段の援助。

Q 予約方法は？

A ウェブを活用した方法を検討。高齢者は、はがきによる予約を検討する。

★要望：地域ごとに区分しての予約の対処の検討。

Q 副反応の対処方法は？

A 会場に複数の医師や看護師を配置する予定。

★要望：2日後3日後の副反応への対処の検討。

Q 情報周知は？

A 個別通知による案内。リーフレットを同封する。

★要望：ワクチン接種できない方や



ワクチン接種始まる 集団免疫をつくりましょう

妊婦さんにPCR検査の実施。介護従事者へのワクチン接種を入所者と同時に実施。

50年後の地球!?

Q 令和3年度の取り組みは？

A めげせ！ゼロカーボン推進事業

Q 気候非常事態宣言の表明

A 県と、県内13の自治体で表明している。令和3年度に「岡谷市地球温暖化対策実行計画」の見直しを予定しており、具体的に検討する。「地球温暖化防止川柳の募集」や「緑のカーテンコンテスト」は継続して取り組む。

★要望：気候温暖化は未来に関わる若者の問題でもある。環境、経済産業など多岐にわたる喫緊の課題であり、令和3年度の表明実施。

Q 全世代型社会保障は高齢者にとって後退

A 福祉の後退と考えていない



笠原 征三郎

Q 高齢者の生活は年金は減少、医療保険料は増加しており、大変に苦しい。このような生活実態をどう見ているか？

A 医療費や保険料の支払いが高齢

Q 全世代型社会保障は、高齢者にとっては福祉の後退ではないか？

A 負担の公平性と全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」は、福祉の後退につながるとは考えていない。



Q 窓口負担が1割から2割になれば、受診控えが増えるのでは？

A 医療費を気にして必要な医療を受けられずに症状が悪化することがないよう、2割負担の対象者には一定の配慮がなされている。

少人数学級コロナから学ぶ

Q 新型コロナウイルスの感染を防ぐのに、少人数学級の必要性が明らかになった。この経験から学ぶことは大変重要だと思ふ

A 教室内の、こまめな換気やソーシャルディスタンスなど感染防止に努めてきた。引き続き30人規模学級

Q 生活道路に対する市民からの要望と行政の対応は？

A 要望箇所については全て職員が現場を調査する。そして、どの様な対応が必要か検討をする。

Q 要望に応えるための予算確保はどの様なか？

A 市民から要望の多い舗装の補修は交付金事業や起債事業として実施してきている。今後も維持管理には安定した財源が必要。

Q 高齢者の生きがいづくりの推進は？

A 事業実施に必要な支援に努める



吉田 浩

Q 新年度新規事業「地域支え合い型移動支援補助金」の概要は？

A 高齢者を地域で支えていく上で移動手段の確保は大きな課題のひとつ。新年度において、地域住民が主体

となりボランティアで実施する、高齢者の通いの場などへの移動支援活動に対して、送迎サービス補償保険料を補助する。送迎中に事故に遭い、利用者や運転手がけがした場合などを補償する保険に加入いただき、一定の条件下で保険料を市が補助するものであり、移動支援にあたり、担い手と利用者の安全・安心を確保し、このような支援が地域での支え合い活動のきっかけや広がりにつなげることを目的として考える。

Q 今後の支援の拡充の検討は？

A このような住民が主体となる支援活動が各地域に広がることも期待

市におけるSNSの活用

Q 今後、SNSを活用したイベントを続けていく予定は？

A 令和2年度に開催した、岡谷市インスタグラムフォトコンテストは、SNSの情報拡散能力と利便性の高さを活かして、951点という予想を大きく上回る応募をいただいたこ



インスタグラムフォトコンテストの概要

とから、反響が大きかったと感じている。今後も、SNSの特徴を活かし、「誰でも気軽に参加することができ」る「イベントの開催に取組んでいきたい」と考えている。

Q 社協と協働で重層的支援体制整備事業を

A 各々の役割分担で努める



遠藤 真弓

Q 地域共生社会実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律で新たに創設される「重層的支援体制整備事業」の概要は？

Q ひきこもり市民講座の開催は？

A 本年度、市民を対象に講演会開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止とした。誰にでもおこりうること「相談してよい悩み」であるという意識の醸成とそれに向けた周知啓発のため、今後、講演会や学習会など計画的に開催していきたい。

Q ひきこもりサポーター派遣事業参加は？

A 3月長野県ひきこもり支援センター主催の会議へ参加予定。会議内容や、他市町の取り組みを参考に研究を深める。

女性のための相談について

Q コロナ禍における状況は？

A 全国的にDVをはじめとする女性相談や支援が増加傾向というデータがあるが、本市の当事業については例年と変わらない状況。

Q コロナ禍の周知工夫や気を付けたことなどは？



「女性のための相談名刺サイズ」の相談案内カード、ほか。

A 全国的に緊急事態宣言が発令され施設の使用が制限されたことから、相談会場を変更し継続しておこなった。また新聞に相談窓口の開設記事を掲載するとともに、財布やカバンに入れられる名刺サイズの案内カードを、女性トイレなどに設置している。

令和3年 第1回定例会

(主な議案の審議結果)

令和3年第1回定例会が、2月16日(月)から3月1日(月)までの29日間の会期で開かれ、報告案件3件、一般議案29件、議員提案3件、合計31議案等が審議されました。

◆議案第10号
岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例

本会議での提案説明

長野県から示された令和3年度の岡谷市の算定結果に基づき、条例の一部を改正するもので、改定案の税率により算定すると一人当たりの平均税額は4342円、3.80%増の税率改定となる。
※本会議の後、社会委員会に審査付託されました。

社会委員会での主な質疑及び市側の答弁、並びに審査結果

問 自治体によって医療費に差が生じている点をどのように捉えているか？

答 長野県は、市町村規模の差が大きく、医療環境も大きく異なっている。都道府県化に伴う保険料水準の統一を図る上で、大きな課題であると捉えている。

○討論の概要

◆反対討論(反対意見)
国保税の引き上げは4年連続であり、今後も続く予定である。国保加入者には低所得者が多く、保険料算定によって、とりわけ子育て世代

の経済的負担が重くなっている。一般会計からの法定外の繰り入れが必要であり、コロナ禍において、税率を据え置く自治体も多数ある中で、税率を引き上げるための条例改正であることから、本議案には反対する。

◆賛成討論(賛成意見)

県が財政運営の責任主体である国民健康保険制度において、県から示された納付金額に対応するため、標準保険税率を基に、さまざまな角度から改定税率等の検討が行われたほか、岡谷市国民健康保険事業

基金からの繰り入れなど、被保険者の保険税負担に配慮した改正であると判断し、本議案に賛成する。

※委員会では、賛成多数により、原案のとおり可決されました。
※本会議で、採決により本議案は賛成多数により可決されました。

◆議案第31号
新型コロナウイルス感染症に伴う地域経済対策に関する意見書

地方公共団体が市民の生活と地域経済を守るために行う施策に対し国が責任をもつて十分な財源措置を講ずることなどを求めた意見書を議員提案として上程し、全会一致で可決されています。

○令和3年 第1回定例会(全会一致により可決等された議案等)

Table with 2 columns: 議案番号, 件名. Lists 32 items including reports and resolutions.

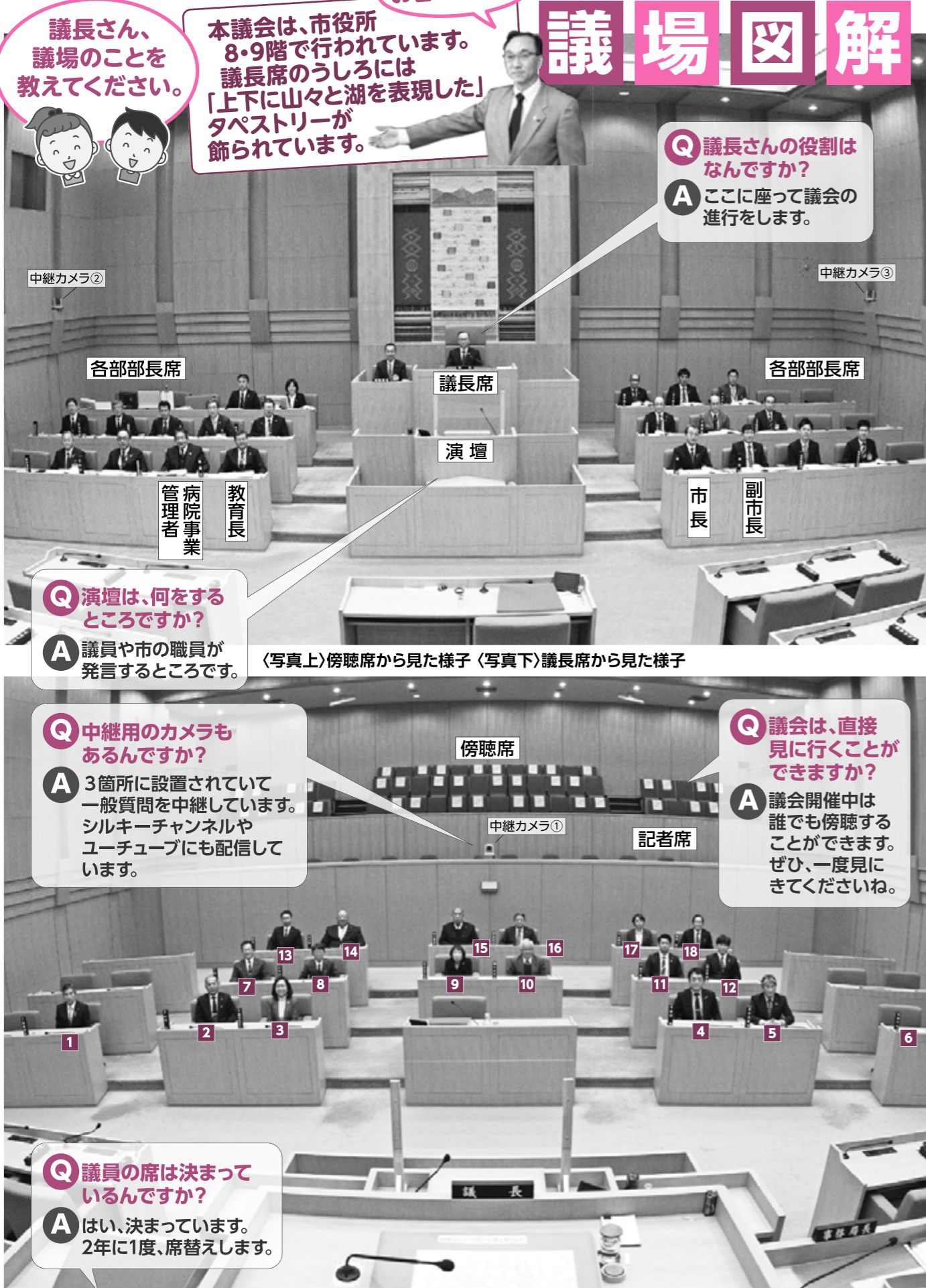
○令和3年 第1回定例会(賛否が分かれた議案等)

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 審議結果. Includes a grid for voting results by member.

議長:議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対

●議場ってどんなところ？

議場図解



議長さん、議場のことを教えてください。

本議会は、市役所8・9階で行われています。議長席のうしろには「上下に山々と湖を表現した」タペストリーが飾られています。

お答えします。

Q 議長さんの役割はなんですか？

A ここに座って議会の進行をします。

中継カメラ②

中継カメラ③

各部部长席

議長席

各部部长席

演壇

副市長
市長

教育長
病院事業
管理者

Q 演壇は、何をするとところですか？

A 議員や市の職員が発言するところです。

〈写真上〉傍聴席から見た様子 〈写真下〉議長席から見た様子

Q 中継用のカメラもあるんですか？

A 3箇所を設置されていて一般質問を中継しています。シルキーチャンネルやユーチューブにも配信しています。

傍聴席

中継カメラ①

記者席

Q 議会は、直接見に行くことができますか？

A 議会開催中は誰でも傍聴することができます。ぜひ、一度見にきてくださいね。

Q 議員の席は決まっていますか？

A はい、決まっています。2年に1度、席替えます。

- 1 藤森博文 2 山崎 仁 3 田村みどり 4 吉田 浩 5 中島秀明 6 渡辺太郎 7 中島保明 8 今井義信 9 早出すみ子 10 今井秀実 11 武井友則 12 今井康善 13 早出一真 14 小松 壮 15 大塚秀樹 16 笠原征三郎 17 遠藤真弓 18 浜 幸平

※写真撮影のためマスクをはずしていません。

※新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら取材しています。

【3月24日(水)】

春のぽかぽか陽気に誘われて、湖畔公園で遊ぶ親子に突撃取材しました。

- ①春から頑張りたいことは何ですか?
- ②この公園の好きなところは何ですか?
- ③議会／議員に望むことは何ですか?

武井さん
親子

武井千明さん

智也くん
(2歳)



【武井 千明さん】

- ①ふたりの子どもの子育て、育児。
- ②楽しい滑り台。
- ③議会だより読んだことがあります。子供向けにより安全に遊べる公園の充実をしてください。

【山岡 紗耶香さん】

- ①コロナに負けない家族の体調管理。
- ②大きくて長い滑り台。親子で一緒に遊べる場所。
- ③安全面に配慮した公園を作ってほしいです。

山岡さん
親子

山岡紗耶香さん

玲香ちゃん
(7歳)

翔太くん
(4歳)



小口さん
親子

小口恭平さん

夢乃ちゃん
(3歳)



【小口 恭平さん】

- ①家族でしっかり健康管理をして、しっかり外で遊びたい。
- ②諏訪湖、八ヶ岳が一望できる風景とロング滑り台。
- ③市内の公園の管理(雑草処理)をきちんとしてほしい。議員さんも気にしてもらいたい。

■議会広報広聴委員会

- 委員長 藤森 博文
- 副委員長 田村みどり
- 委員 長 吉田 浩
- 委員 義信 早出すみ子
- 委員 康善 小松 壮

＝ご意見・ご要望＝
市議会だよりについて
ご意見・ご要望を
お受けしていますので
下記までお寄せください。

連絡先
岡谷市議会事務局
TEL.23-4811(内線1711)
FAX.22-6213
メール
gikai@city.okaya.lg.jp

春の息吹が街を彩ります。「議会のひろば」を発行してから、2年が経ちます。7人の委員でああでもない、こうでもない論議を重ねた日々でした。作成は議会が閉会してから、ほっと一息つく間もなく取り掛かるので大変でした。突ゲキ取材の場所選びに苦労しましたが、反面、直接市民の方への取材には、おもしろさもありました。予算・決算議会では、その特色から議員一人ひとりの思いを掲載することができました。市民の皆さんの声を聴きながら、専門家からの研修を受け、講評をいただき、写真や記事の配置、読み手の視線の動きなどに工夫し、毎号ていねいに作りました。皆さんのお手元に届くことを心待ちにしています。今後ますます充実させてまいりますので、「議会だより」をぜひご覧ください。(早出すみ子)

■編集後記

